

平成 24 年 3 月 19 日

ご取材のお願い

公益財団法人ヤマト福祉財団

久慈市漁業協同組合 製氷貯氷施設災害復興新築工事に伴う 安全祈願祭及び起工式の開催について

震災前の 2.5 倍の量の製氷（50t／日）が可能な製氷貯氷施設の新築工事を開始

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 3 次助成先の 1 つである岩手県久慈市漁業協同組合（以下「久慈市漁協」と略記）にて、平成 24 年 9 月 30 日完成予定の製氷貯氷施設災害復興新築工事の安全祈願祭・起工式が行われる運びとなりました。

岩手県沿岸北部において水揚げの中心となる久慈市宮魚市場（開設者：久慈市、運営者：久慈市漁協）では、関連施設も含め、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けましたが、応急的な復旧で昨年 3 月 30 日に営業を再開しました。しかし、久慈市漁協の運営する製氷貯氷施設が全壊した為、応急的に漁協の冷蔵庫や小型製氷機の氷を使用しており、漁船や魚市場等への氷の安定的な供給体制の構築には至っておりませんでした。

久慈市の基幹産業である水産業の早期復旧・復興を図るうえで必要不可欠である氷の安定供給体制を構築するため、久慈市漁業協同組合 製氷貯氷施設災害復興新築工事に対し平成 23 年 12 月 21 日に 2 億 3,333 万円を上限とする助成を決定いたしました。

（この助成は、岩手県からの申請事業の製氷・貯氷回復支援事業によるものであり、事業費 10 億 5 千万円のうち、岩手県、久慈市負担分の 2/9 相当額を助成するものです）

その他、ヤマト福祉財団では第 3 次、第 4 次助成先の「岩手県 水産業共同利用施設復旧支援事業」において、久慈市漁協や久慈市冷凍水産加工共同組合の加工処理施設や冷凍冷蔵施設の修繕事業、久慈市宮魚市場の荷捌き流通用機材の整備事業へ助成しており、久慈市の水産業が包括的に復興できるよう取り組んでおります。

久慈市の水産業は復興の途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む新たな一步を踏み出すための本式典を、何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

安全祈願祭・起工式及び工事内容： 久慈市漁業協同組合（担当：嵯峨 0194-52-3111）

記

1. 日時

平成24年3月24日(土) 午前10時00分より

2. 場所

岩手県久慈市長内町第36地割11番地

久慈市漁業協同組合 製氷貯氷施設建設予定地

※久慈市営魚市場の南150m隣接地

3. 主な出席者(敬称略)

(1) 久慈市漁業協同組合

代表理事組合長 自 健一郎(さいかち けんいちろう)

(2) 久慈市

農林水産部長 村上 章(むらかみ あきら)

(3) 岩手県

県北広域振興局長 松岡 博(まつおか ひろし)

(4) 公益財団法人ヤマト福祉財団東日本大震災復興支援選考委員会

事務局長 山内 信幸

公益財団法人ヤマト福祉財団

事務局長 渡辺 聡

4. 施設概要

(新施設) 鉄骨コンクリート造一部三階建て

延床面積 : 3,291.62 m²

製氷能力 : 50 t / 日

貯氷能力 : 2,210 t

(被災前) 鉄骨コンクリート造一部二階建て

延床面積 : 3,266.84 m²

製氷能力 : 20 t / 日

貯氷能力 : 2,200 t

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。140億円以上が見込まれるヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般からも募金を募り、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。既に24件の事業に対して、105億円以上の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ(<http://www.yamato-fukushi.jp/>)をご参照ください。

